



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月11日

上場会社名 日新商事株式会社

上場取引所 東

コード番号 7490 URL <https://www.nissin-shoji.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 筒井 博昭

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 柴崎 正典

TEL 03-3457-6254

四半期報告書提出予定日 2020年11月12日

配当支払開始予定日

2020年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	24,888	20.0	474	354.8	555	219.3	1,346	619.4
2020年3月期第2四半期	31,106	5.6	104	602.9	173	111.1	187	

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 1,681百万円 (%) 2020年3月期第2四半期 62百万円 (71.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	200.21	
2020年3月期第2四半期	27.83	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	32,217	19,177	58.5
2020年3月期	31,229	17,570	55.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 18,860百万円 2020年3月期 17,295百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		9.00		11.00	20.00
2021年3月期		9.00			
2021年3月期(予想)				9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	54,000	12.9	660	115.4	800	74.3	1,300	482.3	193.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想については、本日(2020年11月11日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	7,600,000 株	2020年3月期	7,600,000 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	873,496 株	2020年3月期	873,496 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	6,726,504 株	2020年3月期2Q	6,726,504 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、企業収益が大幅に減少した一方、経済活動の再開と政府による感染症対策の推進等により、個人消費は一部持ち直しがみられました。しかしながら、企業の業績や雇用情勢等における厳しさは残っており、企業を取り巻く経営環境の先行きは依然として不透明な状況が続いています。

石油製品販売業界におきましては、原油価格は4月半ばに20ドルを割り込んだ後、6月には米経済指標が相次いで良好となったこと等から景気回復への期待が高まり、40ドル台まで上昇しました。その後、OPECプラスが協調減産の一層の遵守を確認する一方で、欧米での新型コロナウイルス感染症の再拡大により原油需要の回復が遅れるとの見方が強まり、前年同期より約20ドル安い40ドル前後で推移しました。国内石油製品価格は原油価格の動向を受けて、4月から5月にかけて低下しました。その後、ガソリンの需要が回復したことにより5月から8月にかけて緩やかに上昇しましたが、8月から9月は原油価格の影響により軟調に推移しました。

国内石油製品需要は、新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛や訪日外国人観光客向けのバス需要低下等により、ガソリンや軽油の需要が低下したこと等を受けて、全体として前年同期を大幅に下回りました。

再生可能エネルギー業界におきましては、世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大を契機に、脱炭素に向けた動きが再度注目されています。日本でも、脱炭素社会を実現するための取組みとして、非効率的な石炭火力の廃止と再生可能エネルギーの導入拡大が打ち出されています。

このような状況下、当第2四半期連結累計期間の当社グループ業績は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて主に石油関連事業全体で販売価格が下がったことや販売数量が減少したこと等により、売上高は24,888,430千円（前年同期比20.0%減）となりました。また、石油関連事業において製品市況の動向等により、前年比マージンが確保できたため、営業利益は474,462千円（前年同期比354.8%増）、経常利益は555,223千円（前年同期比219.3%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、川崎充填所跡地の譲渡による特別利益が発生したことにより、1,346,703千円（前年同期比619.4%増）となりました。

セグメント別及び部門別の状況は次のとおりであります。

<石油関連事業>

石油関連事業全体につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて販売価格が下がったことや販売数量が減少したこと等により、売上高は前年同期比22.3%減の23,003,802千円となりました。セグメント利益は、製品市況の動向等により、前年比マージンを確保できたため、前年同期比725.6%増の449,635千円となりました。

(直営部門)

直営部門につきましては、第1四半期に他社保有1SS（サービスステーション）の運営継承を行ったものの、燃料油の販売数量が減少したことや販売価格が下がったこと、またカーメンテ商材の販売が減少したこと等により、売上高は前年同期比20.2%減の9,574,100千円となりました。

(卸部門)

卸部門につきましては、販売価格が下がったことや第1四半期に販売店2社の2SSが閉鎖したことによる販売数量の減少等により、売上高は前年同期比30.2%減の2,990,929千円となりました。

(直需部門)

直需部門につきましては、法人向け燃料油カードの発券枚数増加などガソリンや軽油の販売は堅調に推移したものの、販売価格が下がったこと等により、売上高は前年同期比23.2%減の8,492,191千円となりました。

(産業資材部門)

産業資材部門につきましては、農業資材の新規顧客開拓が寄与した一方、石油化学製品の販売数量が減少したことや販売価格が下がったこと等により、売上高は前年同期比7.4%減の1,633,509千円となりました。

(その他部門)

その他部門につきましては、川崎充填所の閉鎖に伴い液化石油ガスの販売数量が減少したこと等により、売上高は前年同期比35.5%減の313,070千円となりました。

<再生可能エネルギー関連事業>

再生可能エネルギー関連事業につきましては、太陽光発電所の販売や、バイオマス発電燃料であるPKS（Palm Kernel Shell：パーム椰子殻）の販売等により、売上高は前年同期比84.7%増の888,513千円となりました。セグメント利益は、PKSの販売において、新型コロナウイルス感染症の影響により当初の輸送計画からの変更を余儀なくされ経費が増加したこと等により、前年同期比20.8%減の68,587千円となりました。

<外食事業>

外食事業につきましては、ケンタッキーフライドチキン店は、第1四半期に新たに1店舗を開店したことや新型コロナウイルス感染症の影響によるテイクアウト需要の増加等により、売上高が増加いたしました。しかしながら、法人向け飲料販売において、営業活動の効率化を図るため商流を整理したことや、タリーズコーヒー店において、外出自粛要請による休業の対応をしたこと等により、外食事業全体の売上高は前年同期比5.0%減の680,761千円となりました。セグメント利益は、ケンタッキーフライドチキン店の売上増加により、2,714千円（前年同期はセグメント損失21,025千円）となりました。

<不動産事業>

不動産事業につきましては、賃貸マンションの堅調な稼働等により、売上高は前年同期比0.3%増の315,353千円となりました。セグメント利益は、前年同期と比べてオフィスビルの大規模修繕等の費用が縮小したこと等により、前年同期比7.2%増の184,738千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(総資産)

総資産は、前連結会計年度末に比べ、987,817千円増加し、32,217,279千円となりました。これは、受取手形及び売掛金が731,573千円減少したものの、現金及び預金が1,271,675千円、投資有価証券及び関係会社株式が438,060千円増加したことなどによるものです。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べ、619,782千円減少し、13,039,379千円となりました。これは、未払法人税等が583,340千円増加したものの、借入金が1,117,948千円減少したことなどによるものです。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ、1,607,599千円増加し、19,177,899千円となりました。これは、利益剰余金が1,252,119千円、その他有価証券評価差額金が311,857千円増加したことなどによるものです。

この結果、1株当たり純資産は前連結会計年度末と比べ、232.61円増加し、2,803.88円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、財務活動によるキャッシュ・フローにおいて資金が減少したものの、営業活動によるキャッシュ・フロー及び投資活動によるキャッシュ・フローにおいて資金が増加したため、前連結会計年度末に比べ1,426,503千円増加し、4,837,005千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローでは、1,167,715千円の資金の増加となりました。これは固定資産売却益の計上1,545,800千円などにより減少したものの、税金等調整前四半期純利益2,007,235千円、売上債権の減少額648,195千円などにより資金が増加したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローでは、1,463,660千円の資金の増加となりました。これは有形固定資産の取得による支出261,649千円等により資金が減少したものの、有形固定資産の売却による収入1,701,627千円などにより資金が増加したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローでは、1,191,940千円の資金の減少となりました。これは借入金の収入及び返済などによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の通期の業績予想につきましては、2020年9月16日に公表いたしました業績予想から修正いたしました。詳細につきましては、本日(2020年11月11日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,673,814	4,945,490
受取手形及び売掛金	6,919,728	6,188,155
商品及び製品	870,824	1,057,850
その他	854,205	887,481
貸倒引当金	△23,742	△12,384
流動資産合計	12,294,831	13,066,593
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,435,400	3,368,171
土地	5,590,071	5,540,008
その他(純額)	3,385,634	3,246,607
有形固定資産合計	12,411,106	12,154,788
無形固定資産		
	287,155	233,454
投資その他の資産		
投資有価証券	3,886,519	4,322,361
関係会社株式	1,215,502	1,217,720
その他	1,233,034	1,308,683
貸倒引当金	△98,688	△86,320
投資その他の資産合計	6,236,369	6,762,444
固定資産合計	18,934,631	19,150,686
資産合計	31,229,462	32,217,279
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,662,696	1,667,688
短期借入金	3,278,387	1,598,347
未払法人税等	140,612	723,952
賞与引当金	226,843	227,836
役員賞与引当金	16,150	4,452
資産除去債務	17,160	18,600
その他	1,174,088	1,008,379
流動負債合計	6,515,938	5,249,257
固定負債		
社債	744,000	688,000
長期借入金	4,546,446	5,108,538
繰延税金負債	73,826	192,219
商品保証引当金	6,300	6,300
退職給付に係る負債	964,493	987,313
資産除去債務	228,186	223,574
その他	579,970	584,177
固定負債合計	7,143,223	7,790,122
負債合計	13,659,161	13,039,379

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,624,000	3,624,000
資本剰余金	3,281,625	3,281,625
利益剰余金	9,844,252	11,096,371
自己株式	△643,445	△643,445
株主資本合計	16,106,431	17,358,551
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,265,584	1,577,442
為替換算調整勘定	△18,479	△31,412
退職給付に係る調整累計額	△57,878	△44,243
その他の包括利益累計額合計	1,189,226	1,501,786
非支配株主持分	274,641	317,562
純資産合計	17,570,300	19,177,899
負債純資産合計	31,229,462	32,217,279

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	31,106,955	24,888,430
売上原価	27,488,271	21,009,469
売上総利益	3,618,683	3,878,961
販売費及び一般管理費	3,514,371	3,404,499
営業利益	104,311	474,462
営業外収益		
受取利息	1,723	1,878
受取配当金	78,723	81,909
その他	84,861	97,810
営業外収益合計	165,307	181,599
営業外費用		
支払利息	74,493	68,908
持分法による投資損失	303	8,402
その他	20,947	23,526
営業外費用合計	95,745	100,837
経常利益	173,873	555,223
特別利益		
固定資産売却益	74,534	1,545,800
投資有価証券売却益	45,619	-
受取保険金	25,497	-
特別利益合計	145,651	1,545,800
特別損失		
減損損失	43,215	21,422
工事請負契約解約損	9,400	-
固定資産除却損	-	66,649
投資有価証券評価損	-	5,716
特別損失合計	52,615	93,788
税金等調整前四半期純利益	266,909	2,007,235
法人税、住民税及び事業税	56,893	665,423
法人税等調整額	△8,026	△27,219
法人税等合計	48,867	638,203
四半期純利益	218,041	1,369,031
非支配株主に帰属する四半期純利益	30,840	22,328
親会社株主に帰属する四半期純利益	187,201	1,346,703

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	218,041	1,369,031
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△164,157	310,828
為替換算調整勘定	△2,407	△12,932
退職給付に係る調整額	10,852	13,634
持分法適用会社に対する持分相当額	663	1,029
その他の包括利益合計	△155,049	312,559
四半期包括利益	62,992	1,681,590
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	32,151	1,638,670
非支配株主に係る四半期包括利益	30,840	42,920

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	266,909	2,007,235
減価償却費	264,038	264,219
減損損失	43,215	21,422
固定資産売却益	△74,534	△1,545,800
固定資産除却損	-	66,649
その他の特別損益(△は益)	△25,497	-
投資有価証券売却損益(△は益)	△45,619	-
投資有価証券評価損益(△は益)	-	5,716
賞与引当金の増減額(△は減少)	△697	993
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	14,926	42,472
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	6,333	15,835
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△8,938	△23,725
受取利息及び受取配当金	△80,446	△83,788
支払利息	74,493	68,908
持分法による投資損益(△は益)	303	8,402
預り保証金の増減額(△は減少)	△12,929	2,164
売上債権の増減額(△は増加)	314,200	648,195
たな卸資産の増減額(△は増加)	9,649	△35,417
仕入債務の増減額(△は減少)	△72,002	4,991
未払軽油引取税の増減額(△は減少)	△40,400	△4,204
その他	34,394	△208,174
小計	667,401	1,256,097
利息及び配当金の受取額	82,928	85,732
利息の支払額	△78,301	△70,840
法人税等の支払額	△107,792	△103,273
保険金の受取額	25,497	-
契約違約金の支払額	△9,400	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	580,333	1,167,715
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△240,000	-
定期預金の払戻による収入	-	145,000
有形固定資産の取得による支出	△189,867	△261,649
有形固定資産の売却による収入	448,361	1,701,627
有形固定資産の除却による支出	-	△27,129
無形固定資産の取得による支出	△7,096	△29,002
資産除去債務の履行による支出	△5,000	△4,660
投資有価証券の取得による支出	△22,464	△1,880
投資有価証券の売却による収入	87,665	-
関係会社株式の取得による支出	△365,178	△4,156
貸付けによる支出	△2,380	△5,810
貸付金の回収による収入	5,219	3,740
その他	22,841	△52,419
投資活動によるキャッシュ・フロー	△267,899	1,463,660
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	500,000	△1,000,000
長期借入れによる収入	400,010	700,000
長期借入金の返済による支出	△848,042	△817,948
配当金の支払額	△60,538	△73,991
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,570	△1,191,940
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,306	△12,932
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	300,557	1,426,503
現金及び現金同等物の期首残高	3,332,779	3,410,502
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,633,336	4,837,005

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	石油関連 事業	再生可能 エネルギー 関連事業	外食事業	不動産事業			
売上高							
外部顧客への 売上高	29,594,878	481,134	716,429	314,512	31,106,955	—	31,106,955
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	24,999	24,999	△24,999	—
計	29,594,878	481,134	716,429	339,512	31,131,954	△24,999	31,106,955
セグメント利益 又は損失(△)	54,461	86,581	△21,025	172,325	292,343	△188,031	104,311

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△188,031千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務、経理等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「石油関連事業」セグメント及び「外食事業」セグメントにおいて、販売マージンの悪化等による事業環境の激変により、継続して損益がマイナスであることから帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。

なお、当第2四半期連結累計期間において「石油関連事業」セグメントで8,803千円、「外食事業」セグメントで34,411千円を当該減損損失に計上しております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	石油関連 事業	再生可能 エネルギー 関連事業	外食事業	不動産事業			
売上高							
外部顧客への 売上高	23,003,802	888,513	680,761	315,353	24,888,430	-	24,888,430
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	-	-	-	25,603	25,603	△25,603	-
計	23,003,802	888,513	680,761	340,956	24,914,034	△25,603	24,888,430
セグメント利益	449,635	68,587	2,714	184,738	705,676	△231,214	474,462

(注) 1. セグメント利益の調整額△231,214千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務、経理等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「石油関連事業」セグメント及び「外食事業」セグメントにおいて、販売マージンの悪化等による事業環境の激変により、継続して損益がマイナスであることから帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。

なお、当第2四半期連結累計期間において「石油関連事業」セグメントで19,499千円、「外食事業」セグメントで1,923千円を当該減損損失に計上しております。